

二〇一七年 八月

「今月の言葉」と「今月の聖語」についての紹介

今月の言葉

仏法には、明日と申す事、あるまじく候う。

『蓮如上人御一代記聞書』

「明日があるさ明日があるさ」

坂本九さんが歌った八十年代の名曲です。今でもCMで、耳にすることがあります。予習復習、家の手伝いなど、今日中にすべきことがあっても、テレビ・携帯電話・ゲームの

誘惑に負けて、「明日があるさ」と後回しにしようとはありませんか。楽観的になることも必要な時もありますが、目先の享楽に心を奪われ、大事なことを見失うのは要注意。蓮如上人は「仏法については、明日ということがあってはならない」と、おっしゃられています。人間のいのちは、はかないもので、明日はどうなるかわかりません。にもかかわらず、時間に追われた生活の中では、仏法を聞くということも、おろそかになってしまいがちです。

今月の言葉は、本当に大切にすべきことをついつい後回しにしよう我々の姿を言い当てられ、忠告されているのです。

今月の聖語

たはた

田畠は雑草によって荒れ ひととんよくは貪欲によってすさむ

『法句経』

十年ひと昔とよく言われます。十年ほど前には「電話を携帯できる」だけでも十分魅力的だった携帯電話は今や、ますます高性能になり、カメラ、テレビ、インターネット、オーディオプレーヤーなども携帯できるようになりました。めざましい科学技術の発展に驚くばかりです。

ですが、これは、時と場所を選ばずに自分の欲求を満たせるようにしたいという人間の欲望がなせるわざといえるかもしれません。大人も子供もついつい時間を忘れて楽しい機能に心を奪われてしまいます。勉強、家族との会話、将来のことを考える大切な時間を一時の享楽のために浪費しかねません。

さて、田畑はほっておくと、雑草は次々と生い茂り、土壌は荒れ、作物は実りません。同様に、我々の心もほっておくと、「あれもしたい、これもしたい、もっとしたい」というむさぼりの心が次々と起こり、コントロールできない「すさんだ」状態になりかねません。携帯電話に夢中になっているそのあなた、こんな釈尊の忠告も携帯してくださいね。

宗教教育係